

列島いんふおめーしょん

列島 information

3月号の主な話題&ふるさとだより

青森	保育園が一斉に「ホイクボス宣言」	富山	「富山の薬」3社が共同戦線樹立
岩手	全国でも珍しい「募金だけで特養」	石川	江戸初期の甲冑などを初展示
宮城	I B E Xが仙台発着路線大幅割引	兵庫	松帆銅鐸がチョコレートに
茨城	日本画大家の絵が94年ぶり公開	島根	ぜんざい味のポテトチップス
埼玉	角川が文化複合施設を建設	香川	訪日客フリーパスが小豆島でも
東京	都内初、電力の地産地消に挑戦	徳島	国際線対応の新ターミナルビル
山梨	富士急が「お一人様」需要開拓	熊本	熊本空港が民営化に向け「滑走」
静岡	「わさび」が世界農業遺産に王手	沖縄	セブン、沖縄進出に向け新会社



北海道

150周年祝したポテチ

北海道 2月19日、カルビー（松本 晃会長兼CEO）は、「北海道」命名150周年を祝したご当地スナック「ポテトチップス 昆布しお味」を発売。同社が展開する都道府県ご当地ポテトチップス構想「ラブジャパン」の一環で、道内のコンビニを中心に販売。日高昆布とオホーツクの塩を使用。

青森

保育園が「斉に」ホイクボス宣言

平川市 2月1日、同市の保育園連絡協議会加入の保育園・こども園13施設が「ホイクボス」を宣言、連盟も発足させた。保育士不足が深刻化する中、就労環境の改善を「見える化」しアピール、人材確保につなげるのが狙いで、各施設はホイクボスの要請や情報交換で結束する。

岩手

全国でも珍しい「募金だけで特養」

盛岡市 3月下旬、一般市民からの募金だけで建設費を賄った特別養



特養「はなみずぎ」（特別養護老人ホームをつくる会）

護老人ホーム（特養）「はなみずぎ」が開所予定。2011年、元・盛岡医療生活協同組合員を中心「特別養護老人ホームをつくる会」（本部・同市。坂正毅会長）が結成され、募金活動を開始、2015年には同市の第六期介護保険計画に正式認定。昨年末に目標額1億9000万円を達成した。施設は3階建てで定員は90人。

秋田

高校生と共同で「かまぼこバーガー」

秋田県 2月1日、イオン・グループのマックスバリュ（MV）東北

（本社・秋田市。佐々木智佳子社長）は、県立男鹿海洋高校食品化学科の生徒が授業の一環として製造するかまぼこを使ったハンバーガー「まるでお魚バーガー」を発売。アラスカ産スケトウダラのすり身がベースで、価格は290円（税抜）。3月末まで県内のMV5店舗で販売。



「まるでお魚バーガー」（マックスバリュ）

山形

火事に3時間も耐える木柱開発

山形市 12月22日、住宅建築のシエルター（本社・同市。木村一義社長）は、火事に強い「3時間耐火」の木柱を開発、国交相の認定を取得。15階以上の建物に必須の基準も総てクリアしたため、今後「総木造

ビル」の建設も可能に。

2009年に特許取得済みで、角材の柱の外周に石膏ボードを巻きつけ、さらに木材を貼りつけるというサンドイッチ3重構造が特徴で、もともと耐火性に優れる石膏に加えこれに内包される水分が決め手。約1000℃の炉で3時間焼き、さらに9時間放置しても、中の角材には焦げ目すらつかなかった、という実験結果も出ているという。

宮城

IBEXが仙台発着路線大幅割引

宮城県 2月1日、リージョナル国空会社のIBEXエアラインズ（本社・江東区。浅井孝男社長）は4月2～11日の期間中、仙台空港発着路線の全6路線・全26便で、特定割引運賃「IBEX45」を導入、一律7000円で70～85%の大幅割引。1月に活性化を図ることを目的として県と結んだ包括連携協定に基づく第1弾で、搭乗2カ月前～45日までの予約と搭乗日を含め3日以内の購入が条件。千歳、名古屋、小松、伊丹、広島、福岡と仙台を結ぶ同社便が対象。

福島

災害対応ロボット開発の殿堂

南相馬市 2月6日、同市で「福島ロボットテストフィールド」の起工式が挙行。大規模災害時での活躍や物流に使用するロボットの開発・実証実験を行なう施設で、総事業費は約156億円。敷地面積約50haに15の施設を設け、一部は今春から稼働予定。ドローン実験も可能で、近隣の浪江町に滑走路も有する。

栃木

「王国」が満を持して白イチゴ

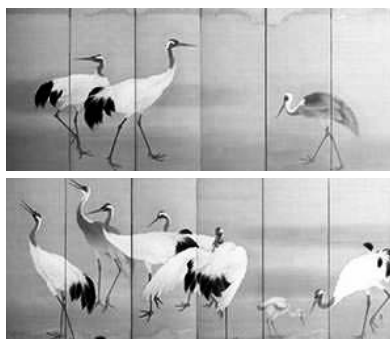
栃木県 1月26日、県は白いイチゴの開発にとまない品種登録を出願、同時に名称募集もスタート。半世紀にわたりイチゴ生産量連続日本一を誇り、「イチゴ王国」を自負する同県にとって初の試みで、甘さとまろやかな食感が特徴。「とちおとめ」よりもやや大振り。

2012年から県いちご研究所により開発が始まり、2020～21年には商品化の予定。ちなみに、「白いイチゴ」はすでに民間から9品種が登場している。

茨城

日本画大家の絵が94年ぶり公開

北茨城市 2月9日、同市の県天心記念五浦美術館において、同県笠間市生まれの日本画の大家・木村武山（1876～1942）の代表作「群鶴（其一）」を公開。1924（大正13）年の再興第11回院展への出品に合わせて描かれた2隻の屏風絵（それぞれ縦約1・7m、横約3・7m）に、10羽のタンチョウの群れを配置、ふんわりとした羽毛の質感などを精緻に表現、その写実的タッチは見る者を唸らせる。だがその後、所在不明となっていたが、2016年に持ち主が判明、94年ぶりの公開が実現した。



「群鶴（其一）」

群馬

太田市が無料バス2路線開設

太田市 12月30日、同市は高齢者など交通弱者向けに全市営バス「シティライナーおおた」の全無料化を宣言、これを受け4月に市東部西部にそれぞれ南北路線を新設、これを無料化。市外の住民も無料で、児童の送迎用のスクールバスを流用。現在市営バスは3路線が運用され、今回誕生する「西バス」「東バス」（仮称）は既存路線を南北で連絡、バスの利便性が格段に向上するものと期待されている。白を解消する狙いがある。これに合わせて新年度予算案に約5400万円を計上予定で、近い将来、既存3路線も無料化、同市が目指す「コンパクトシティ」の“足”と位置付けようだ。

千葉

市内だけの電子地域通貨

木更津市 1月24日、同市は今秋から市内だけで通用する電子地域通貨「アクアコイン」（仮称）の導入を発表。君津信用組合（本店・同市。宮澤義夫理事長）や木更津商工

会議所（本部・同市。鈴木克己会頭）と連携、スマホで決済するもの。アプリはITベンチャーのアイリッジ（本社・港区。小田健太郎社長）が中核となつて開発。君津信組や市役所で現金をチャージ（1円＝1コイン）、商店で支払い方法は店頭のQRコードをスマホで読み込めばOK。市内でのボランティア活動でもらえる「行政ポイント」も使えるのも特徴で、同種のシステムで行政と「金融機関がタッグを組んだのは、恐らく全国初。

埼玉

角川が文化複合施設を建設

所沢市 1月31日、角川文化振興財団（本部・千代田区。角川歴彦理事長）は、同市に建設する物流拠点とホテルの複合施設「ところざわサクラタウン」に併設する文化コンプレックス「角川ロックミュージアム」（仮称）の概要を公表。図書館、美術館、博物館を融合させた文化・芸術の「殿堂」で、地上5階建て、延べ床面積約1万4000㎡。2月1日に着工、2020年4月30日の竣工を目指す。

東京

都内初、電力の地産地消に挑戦

八王子市 1月24日、同市は市

役所本庁舎など公共施設で消費する電力の大半を市内の戸吹清掃工場の発電で賄う計画を発表。同種の取り組みは都内初で、本庁舎の他、北野下水処理場、小児・障害メディアカルセンター、東浅川保健福祉センター、こども科学館、ひよどり山トンネルの計6カ所で、同清掃工場の余剰電力を東京電力パワーグリッド（本社・千代田区。金子慎則社長）の送電網を活用し送電（自己託送）。なお、ピーク時に電力不足が生じた際は、小売り電気事業者から供



「角川ロックミュージアム」が併設される「ところざわサクラタウン」（ところざわサクラタウン）

給を受ける。余剰電力の活用はCO2削減に直結する他、「電力の地産地消」によるコスト低減（年間約1000万円の削減を見込む）、さらには小売電力事業者の撤退による電力逼迫のリスク減少などの効果を見込む。

神奈川

ペリー来航は予言されていた？

横須賀市 同市集客促進実行委

員会は2月24日～5月6日の期間、「総力取材せよ！隠された横須賀の歴史ミステリー」と題した謎解きイベントを開催。学研プラス（本社・品川区。碓秀行社長）が発行する月刊『ムー』の監修のもと市内の走水、観音崎、浦賀、久里浜を散策し謎に挑むもので、必要となる冊子は期間中市内の京急線各駅や市観光案内所、スカナビ・ドバイタスーション、観音崎京急ホテルなどで配布。

「オトタチバナヒメ入水伝説に迫る！」「青い目のサムライ、三浦按針の正体とは!?」「予言されていた!?ペリーの黒船来航」という3つのテーマを用意。2月26日にはWEBメディア・ブロッガー限定のツアー（定員5

新潟

雪冷熱を使ったデータセンター

長岡市 1月22日、データセンター

（DC）運営のデータドック（本社・同市。宇佐美浩二社長）は、「新潟・長岡データセンター」を開所。特徴は雪を冷熱として利用、施設内に配置される膨大なサーバーから発する熱の冷却に必要な電力消費を抑えるというもの。7～9月は冬場に蓄積した雪を使って冷却した不凍液を、そして残る9カ月間は熱交換器と冷涼な外気を利用して施設内を冷涼な



「新潟・長岡データセンター」のパス図（データドック）

状態に保つ。都心のDCよりも約4割の電力削減も可能だという。

また、免震対策も強化され、震度7程度の揺れを震度2まで低減、停電時に備え自家発電と72時間稼働するための重油も備蓄する。

山梨

富士急が「お一人様」需要開拓

富士吉田市 2月10日、富士急

行（本社・同市。堀内光一郎社長）は、同社が運営する「富士急ハイランド」で1人客用のチケット「シングルスマートフリーパス」の発売を開始。価格は5300円で通常よりも400円安い。ヤフーの電子チケットサービス「パスマーケット」上で販売。特典としては、絶叫マシン「FUJIYAMA」「高飛車」では、1人が空席の際に優先的に乗車できる他、2月14日のバレンタインデーでは園内の従業員からチョコのプレゼントも。3月14日まで。

静岡

「わさび」が世界農業遺産に王手

静岡県 県は「静岡水わさびの伝統栽培」を、国連食糧農業機関（F

AO)の「世界農業遺産」認定に向けて積極的だが、1月29、30の両日、調査員が来日、川勝平太知事と面談した後、伊豆市・筏場のわさび田や湯ヶ島の天城わさびの里を訪れ、独特な「畳石式」の栽培方法などを調査。年内には認定の可否が決定される模様通しだという。

長野

熊撃退犬を増やすプロジェクト

軽井沢町 1月25日、同町で熊の保護管理や出没情報など発信するNPO法人ピッキオ(本部・同町。桑田慎也代表)は、熊を撃退する犬として名高い「ベアドッグ」の国内繁殖を目指すプロジェクトを開始、繁殖用の小屋を公開。繁殖から訓練まで行なうのは国内初。ベアドッグは、ヒグマ猟に使う北欧産のカレリア犬で、巨体を武器に吠え立て熊を追い払うよう訓練されている。現在ピッキオは町の委託事業として別荘地などでのクマ対策に2頭を従事。

岐阜

西濃運輸が「連結トラック」発進

大垣市 2月3日、西濃運輸(本

社・同市。神谷正博社長)は、ダブル連結トラック(フルトレーラー)の導入を前に車両を公開。全長19mで、同約12mの先頭車両(最大積載量約13t)の後ろに、約6mのトレーラー(同約14t)を連結、1度に大型トラック2台分の荷物が輸送でき、ドライバー不足やCO2削減の「切り札」として期待される。まずは2月26日から2編成が愛知県小牧市・静岡市の支店間を結ぶルートに投入、大垣支店発のトラックは小牧支店でトレーラーを連結、静岡支店を目指し、復路は小牧支店でトレーラーを分離、先頭車両だけが犬塚支店に帰るというスタイル。

愛知

初の自動運転での公道右折実験

春日井市 2月5日、県は同市高蔵寺ニュータウンの市道を使った、自動運転の右折での公道合流と信号認識・左折の実証実験を実施。国内初の試みで、緊急時に備え遠隔操作拠点を設けた実験だが、一般車両が通行する状態で実施。事前作成の3Dマップと車載された測定機器を駆使して時速約15kmで約1km走行。

富山

「富山の薬」3社が共同戦線樹立

富山市 12月25日、同市に本社を置く医薬品メーカー3社、内外薬品(笹山敬輔社長)、広貫堂(塩井保彦社長)、大協薬品工業(笹山敬輔社長)が、新会社「富山めぐみ製薬」を設立すると発表。「富山の薬」ブランドの復権を目指し、内外製薬の解熱鎮痛薬「ケロリン」の製造販売など全事業と、他2社の配置薬(置き薬)部門を継承、4月から本格事業を開始。新会社には3社がそれぞれ3000万円ずつ出資、社長には内外薬品の笹山敬輔社長が就任。

石川

江戸初期の甲冑などを初展示

金沢市 2月3日、同市の県立歴史博物館で、「れきはくコレクション2017」がスタート。昨年寄贈された県ゆかりの文化・歴史的資料約280点の内、厳選された74点を公開。注目は江戸前期の甲冑「浅葱糸威二枚胴具足」や、「金谷御殿御式台臺股」と呼ばれる、梁上に据えるカエルに似た

建築部材、加賀国内の村名・石高を記載した帳簿の写本「加賀国元禄郷帳」などが見どころだ。

福井

「酒かすの水ようかん」を発売

永平寺町 1月20日、同町観光物産協会(本部・同町。山本平会長)は、地元銘酒「越前岬吟醸」(田邊酒造)の酒粕を使った「酒かすの水ようかん」を発売。相性のよい白あんをベースにした甘さ控えめのスイーツで1皿150円(税込)、1日30食限定で同町の魅力発信交流施設「えい坊館」のみで販売。

三重

近鉄特急で各所巡る婚活ツアー

名張市 2月2日、同市は近畿日本鉄道(本社・大阪市天王寺区。和田林道宜社長)とコラボで、婚活ツアーを初実施。関西圏の女性と市内の男性との出会いが狙いで、3月18日に実施。大阪上本町駅を朝近鉄特急で出発、名張駅到着、地元宇流富志禰神社での縁結び祈願やイチゴ狩り、レストランでの婚活イベントなどを体験しながら再び名張駅か

ら近鉄特急に乗車、車内でカップリングを発表した後、大阪上本町駅に夜到着、というコース。

25〜45歳の独身男女各20名限定で、旅行代金は9180円、3月8日まで募集受付。

奈良

大仏様のお風呂に必要な湯量は？

奈良市 1月23日、日本数学検定協会（本部・台東区。清水静海理事長）は、2問を記した「算額」を同市の東大寺に奉納、同時に同協

会はHP上で2問の解答を広く募っている。「算額」とは江戸期に発展した和算の問題を記した額。

第1問は、奈良の大仏（座高約15m）が湯船に肩まで浸かる場合、何リットルの湯が入る湯船が必要か。

第2問は、東大寺の大鐘（縦高約3.9m、重量26.3t）を長さ4.48mの撞木（総重量200kg）で撞いたら鐘の音は何kmまで届くか。

〆切は9月7日、優秀な解答には賞状と図書カードが贈呈される。

滋賀

米原市が定住の若者に奨学金

米原市 2月15日、同市は人口

減に歯止めをかけるため、定住を希望する若者を対象にした奨学金制度の申請受付を開始。受給は4月からで、2018年度以降に大学、短大、専門学校などに入学する25歳未満の市在住者（在住1年以上）が条件。給付金は年間36万円・最長4年で、市側は申請後、当該者が6年以上定住する意思があるか否かを確認、世帯収入なども考慮し給付を判断。「定住」を条件に加えた奨学金制度は県内初。

京都

「がんこ」が配膳ロボット導入

亀岡市 和食チェーン「がんこ」

を運営するがんこフーズサービス（本社・大阪市淀川区。東川浩之社長）は、3月から亀岡市に新設の店舗に配膳ロボットを本格導入する。

配膳台型で床下にある磁気センサーに従い移動するが、人や障害物を察知すると減速しながら停止できる。時速は1.8kmで搭載するタッチ

パネルを使い、客の個室やテーブル脇まで動き、待ち構えた店員が料理を配膳し終わるとロボットは自動で

厨房へと帰還。約10人分の配膳が可能で、またロボット同士が互いに位置を確認できるシステムを搭載、近

づくると進路を譲り合うという優れもの。シャープ（本社・堺市堺区。戴

正呉社長）が工場の資材運搬用向けに開発した機種を応用したもので、

国の研究機関「産業技術総合研究所」も開発を支援。価格は250万円程度。なお同社はすでに京都市内の店舗で試験的に配膳ロボットを導入している。

大阪

MGMがカジノ構想を発表

大阪市 2月6日、カジノ業界で

世界第2位を誇る米MGMリゾート・インターナショナル（本社・ネバダ州ラスベガス。ジェームス・J・ムーレン会長兼CEO）は、大阪市内で開いた会見で、夢洲における統合型リゾート（IR）の開発計画を発表。

スロットマシンやバカラ用のテーブルなどを核としたカジノを開設するものの、音楽ライブ会場などエンタテインメントを前面に押して「非カジノ」を強調した点が特徴。

すでに、ライバルの米ウイン・リゾ

ーツ（本社・ネバダ州パラダイス。ステイブン・A・ウイン会長兼CEO）、米ラスベガス・サンズ（本社・

ネバダ州ラスベガス。シエルドン・アデルソン会長兼CEO）が名乗りを

挙げており、今後三つ巴の戦いが激しさを増しそうだ。

和歌山

大逆事件の英雄を名誉市民に

新宮市 1月24日、同市は1910

（明治43）年の大逆事件（幸光事



東大寺に奉納された「算額」
（日本数学検定協会）



件)で検挙、死刑となった同市出身の医師で社会主義者、大石誠之助を「郷土の先覚者」と讃え、人権・平和思想の基礎を作った人物として名誉市民の称号を授与。ちなみに同日は大石の命日に当たり、授与式に集まった市職員や議員有志、関係者、列席の市民らが黙禱を捧げた。

兵庫

松帆銅鐸がチョコレートに

南あわじ市 2月1日、淡路島牛乳(本社・同市。鳥井俊廣社長)は、2015年に同市で発見された弥生時代の「松帆銅鐸」を再現した「松帆銅鐸ミルクチョコレート」を発売。大きさは実物の2分の1サイズで、高さ約13cm、最大幅約8cm、重量160g。同社製の牛乳も使用し



「松帆銅鐸ミルクチョコレート」(淡路島牛乳)

神戸市の洋菓子屋で1つずつ手作りしている。銅鐸の歴史的価値などを記した解説文も同梱。市内の観光施設などで販売。価格は1000円。

岡山

三英化学が県工業団地に進出

真庭市 1月17日、県は化学薬品メーカーの三英化学(本社・千葉市美浜区。馬場誠社長)が、県営真庭産業団地に新工場を建設すると発表。主にハムやソーセージに使う食品添加物を生産。同社にとっては千葉県香取市の小見川工場に続く国内2番目の生産拠点で、かつ西日本進出の中心拠点でもある。9月の操業開始予定で投資総額は約4億円。地元から新規雇用10人も計画している。

広島

スタバが伝統工芸品とコラボ

廿日市市 2月7日、スターバックスコーヒージャパン(本社・品川区。水口貴文CEO)は、宮島の伝統工芸品「宮島御砂焼き」のマグカップを、スターバックス広島表参道店で限定販売開始。広島神社の砂を

混ぜた粘土で手作りされたもので、地元の職人が1つずつ完成させた。価格は6500円(税抜)で、容量は444ml。スタバ各店舗で、購入したコーヒーを注いでもらうことも可能。

鳥取

「麒麟のまち観光局」が旗揚げ

鳥取市 1月25日、県東部の1市4町と兵庫県美方郡の2町は、観光地経営組織(DMO)「麒麟のまち観光局」の設立を発表。参画する自治体は、鳥取側が鳥取市と岩美、智頭、若桜、八頭の4町、兵庫側が新温泉、香美の2町。名称はこの地域に古くから伝わる「麒麟獅子舞」という伝統芸能にちなむ。同日、鳥取銀行(本店・同市。平井耕司頭取)はコンサルティング業務担当の行員などを派遣するなど、同組織の支援を表明。4月から自治体や県の枠を超えた観光商品の開発や、地域産品の販促を開始する。

島根

ぜんざい味のポテトチップス

出雲市 2月6日、カルビー(本

社。千代田区。伊藤秀二社長)は、ポテトチップス「出雲ぜんざい味」を中国・四国地方限定で発売すると発表。粉末状の小豆と砂糖を振りかけた、甘酸っぱいぜんざい風味の味わいが特徴。出雲はぜんざい発祥の地とされており、同商品は同社「地元の味」のポテトチップス販売プロジェクトの第三弾。2月19日から発売が開始され、3月下旬まで販売予定。

山口

酢だいたい地ビールお披露目

周南市 1月25日、大津島地区コミュニティ推進協議会(本部・同市。安達寿富会長)は、同市沖の大津島で栽培されている特産の柑橘類「酢だいたい」を使った地ビール「島麦酒SUDAI DA I」の発売を発表。製造は山口市のビールメーカー、山口地ビール(本社・山口市。中川弘文社長)が受託。すっきりとした味の中に、独特の渋みとビールの苦みを楽しめる風味が特徴。高齢化で廃業が相次ぐ酢だいたい農家にとっては朗報だ。2月8日から市内の飲食店などで販売する予定。

香川

訪日客フリーパスが小豆島でも

土庄町 JR四国(本社・高松市。半井真司社長)は3月1日から、訪日外国人向けの鉄道フリーパス「ALL SHIKOKU Rail Pass」の適用範囲を、小豆島のフェリーとバスにも拡大すると発表。訪日客に知名度が高い同島へ更なる観光客を誘致するのが狙い。同パスは、2012年4月から発売がスタートし、昨年までに約1万6800万を販売。同社を始め土佐くろしお鉄道など6社で利用可能で3日間有効で価格は9000円(国内販売)。

愛媛

四国最大級のLNG基地を建設

新居浜市 2月6日、四国電力

(本社・今治市。眞鍋次男社長)は、東京ガスエンジニアリング・ソリューションズ(本社・港区。高木 信以智社長)、住友化学(本社・中央区。十倉雅和社長)、住友共同電力(本社・同市。山本一心社長)と共同で、約400億円を投じて液化天然ガス(LNG)基地を建設すると発



新居浜に出現するLNG基地のバース図(四国電力)

表。4月をめどにLNG供給の新会社「新居浜LNG」(仮称)を設立、住友化学グループや2022年に操業開始の北新居浜火力発電所に安定供給する。新基地は四国最大のLNGタンク23万klを備える他、外航船用の海上バース、LNG気化器、ローリー出荷設備も整備。2022年2月の操業開始を予定。

徳島

国際線対応の新ターミナルビル

松茂町 1月21日、同町の徳島

阿波おどり空港に新設された、国際線対応のターミナルビルに、香港からのチャーター便が到着、運用が開始された。新ターミナルは3階建てで、税関や動植物検疫室、出入国審査

場など海外からの観光客を受け入れる施設を完備。総事業費は18億円。今後、国際定期便の就航を目標に、香港のチャーター便や台湾からの臨時便を受け入れる方針。

高知

マスク用フィルターが大賞受賞

土佐市 1月31日、県産業振興

センターは秀逸な地場産品などを表彰する第30回県地場産業大賞に、廣瀬製紙(本社。同市。岡田勝利社長)の超薄型断熱紙「DEXペーパー」が選出された。同社の受賞は1987、2015年度に続き3度目。独自技術により、物理的に微小物質を捕えるため時間が経過しても効果が落ちない点を評価。2017年の生産以来大手メーカーなどを中心に約50万㎡分を出荷。今後、再生医療現場や空調フィルターへの応用も検討し事業拡大を目指す。

福岡

アジアmangaサミット開催決定

北九州市 2月2日、同市は来年

10〜11月頃に、アジアの漫画の交流イベント「アジアmangaサミット開

催」を九州で初開催すると発表。アジアなど10カ所の国と地域から、約200人の漫画関係者が出席予定。「銀河鉄道999」で著名な日本漫画界重鎮・松本零士さんらを輩出した同市では、アニメによるPR活動に力を入れており、今回のサミット誘致もその一環。同市は同時期に大型集客イベントの開催実施も予定しており、同イベントを地域振興にもつなげたい考えだ。

佐賀

有田焼が「花のNY」に遠征!?

有田町 地元有田焼関連8社は、

2月4日から米・ニューヨークで始まる国際見本市「ニューヨーク・ナウ」に有田焼を出展。同イベント参加は、同県が2016年から推進する、米国市場開拓推進事業の一環。今回出展する企業の1つ、有田焼製造販売の大慶(本社・同町。森義久代表)では、有田焼の伝統を残しつつ、現地のライフスタイルに合わせた新商品「HACHI」を製造。富裕層やファッション関係者も多数集まる同イベントで、未開拓の市場に有田焼を売り込みたい考え。

長崎

動画を観ると99万円もらえる！

佐世保市 1月30日～2月19日、同市は西海国立公園「九十九島」のPRの一環として、宝探し動画「九十九島からの挑戦」を公開。本イベントでは、同島の動画の中に隠された99の文字を見つけると、特産物や現金が早い者勝ちでもらえるというもので、目玉商品は現金99万円。リ阿斯式海岸と群島からなる絶景を目に焼き付けてもらい、観光誘致に繋げるのが狙いで、市は同イベントに4000万円を計上した。

大分

入湯税引き上げで議論沸騰？

別府市 1月17日、同市観光関連団体で構成する「別府のみらい検討会議」は、入湯税の引き上げについての議論を開始。現在、同市の入湯税は40～150円で観光振興などに使用される。実際に増税すれば、地方税法の改正を伴わずに、独自に入湯税を引き上げる国内初の事例に。今後、観光客や地元観光業者などにアンケートを実施し、慎重に増

税について検討する方針。

熊本

熊本空港が民営化に向け滑走

益城町 1月17日、国交省は現在国が管理する同町の熊本空港を、震災復興計画の一環として民営化するための実施方針「熊本空港特定運営事業等実施方針」を公表。民間運営会社への委託期間は基本的に33年間で、会社が希望すれば15年、または災害など不可抗力が発生すれば10年間それぞれ延長が可能。今後、運営会社選定の募集要項を3月に公表、実際の民営化は2020年4月は見込んでいる。

宮崎

焼酎イベントを浅草で開催

宮崎県 2月20日、県酒造組合（本部・宮崎市。渡邊眞一郎会長）は、本格焼酎の出荷量3年連続日本一を祝い、ブランド牛「宮崎牛」に代表される農林水産物による「宮崎の食」とのマリアージュを存分に味わえるイベント「焼酎ノンジョルノ宮崎in東京2018」を、浅草ビューホテルで開催。「ノンジョルノ」とは「飲んで

るの？」の宮崎弁。また「宮崎の本格焼酎」は特許庁の登録地域ブランドで、糖質ゼロがウリ。このため食中酒として前菜、肉・魚・野菜各料理など何にでも合わせられ、食のうまさを引き立てる「懐の広さ」が魅力だという。日時は2月20日19～21時、当日券6500円。

鹿児島

世界最小級ロケット打ち上げ成功

肝付町 2月3日、JAXA（宇宙航空研究開発機構。本社・東京都調布市。奥村直樹理事長）は、小型ロケット「SS520」5号機を同町の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げ。約7分30秒後に衛星を



打ち上げに成功した「SS520」5号機（JAXA）

予定の軌道に投入、成功したと発表。昨年1月の打ち上げ失敗から改良を重ね、今回は東大が開発した重量約3kgの超小型衛星「トリコム1R」を搭載し再挑戦。打ち上げ費用は約5億円。家電に使用される部品など民生品をフル活用し費用削減に努めた。将来的には、経産省などと協力して超小型ロケットを民間に普及させ、宇宙ビジネスの拡大を狙って行く。

沖縄

セブン、沖縄進出に向け新会社

浦添市 2月1日、コンビニ大手のセブン・イレブン・ジャパン（本社・千代田区。古屋二樹社長）は、県内での専用工場建設に先駆け、沖縄食糧（本社・同市。竹内聡社長）と共同で新会社「武蔵野沖縄」を設立したと発表。同社は2019年の同県進出を目指し、昨年10月に完全子会社の「セブン・イレブン・沖縄」（本社・那覇市。久鍋研二社長）を旗揚げなど出店準備を加速。「武蔵野沖縄」の新工場では、同社のコンビニ店舗に供給する惣菜や弁当を生産する予定。